

会費の納入を訴えます

昭和 63, 64 年度支部別会費納入状況

(63.6.30現在)

支 部	納入者数	会員数	支 部	納入者数	会員数
北海道	10	282	京 都	10	94
青 森	3	58	大 阪	5	52
岩 手	30	167	兵 庫	9	119
宮 城	2	81	奈 良	2	30
秋 田	7	90	和歌山	2	30
山 形	6	189	鳥 取	7	60
福 島	4	200	鳥 根	3	143
茨 城	52	687	岡 山	5	69
栃 木	9	184	広 島	6	98
群 馬	11	101	山 口	4	84
埼 玉	6	138	徳 島	0	31
千 葉	14	140	香 川	0	33
東 京	10	293	愛 媛	1	56
神奈川	6	79	高 知	2	44
新 潟	12	240	福 岡	3	41
富 山	6	86	佐 賀	3	71
石 川	2	52	長 崎	2	55
福 井	4	139	熊 本	6	88
山 梨	3	31	大 分	3	36
長 野	18	262	宮 崎	9	107
岐 阜	7	53	鹿 児 島	7	107
静 岡	2	85	沖 縄	7	97
愛 知	5	97	学 園	2	14
三 重	1	46	合 計	328人	5,398
滋 賀	—	59	納入率	6.1%	

同窓会会員は、今や五、四〇〇名にもなり、その活動は飛躍的に発展すべき時です。にもかかわらず、その台所事情は火の車で、同窓生の皆さんの期待に充分添うことができません。会の運営の屋台骨は何といっても健全な財政がその基礎であります。残念ながら会費収入が年々落ちこんで、新しい展開ができないでいます。

去る四月二十七日、和田会長、菊池事務局長、山本総務部長の三名で、東

同窓会会報
第42号
昭和63年8月8日
発行所
茨城県東茨城郡
内原町鯉淵5965
鯉淵学園同窓会
☎319-03 TEL 0292-59-2811
振替口座 宇都宮3-1632番
印刷所
佐藤印刷株式会社

同窓生の皆さんの種々のご意見、ご提案をお寄せ頂きたいこともさることながら、まず、会費の納入に格別のご協力を頂きたい。冒頭から恐縮ですが、「訴え」とします。

同窓会費納入方法の改善について

(本部事務局)

会報四一号にて、会長の提案として「会費納入方法の改善」策がとりあげられています。それは、各会員がもつ一般の預金口座からオンラインシステムによる引落し制度を導入すること、終身会費の推進の二方法でした。今回は、前者の自動引落し制度の一例を紹介してみます。

京渋谷にある第一勧銀ファクタリング株式会社を訪ね、「代金回収システム(概要・別表)」について具体的に説明を受けてきました。システムでは、各会員から「預金口座振替依頼書」を提出頂けば、あとは自動的に納入される仕組みです。

別表により、システムの仕組みはおおよそ理解して頂けるものと思います。今後実際に学園同窓会が、今回掲載した方法によって会費を徴収することができるか否かは、会員の皆さんの賛否はもとより、会費を納入しようとする積極的な対応にかかっております。

同窓生各位には、会費納入方法の改善の具体策として、ぜひ検討して頂きたいと思っております。

なお、この方法では、一回のシステム利用毎に一件(会員一名)につき一五〇円の費用がかかります。相当数の会員が賛同し、利用して頂かないと効果的でなくなります。理解と協力をお願いしなければなりません。皆さんの意向を収集して判断したいと考えております。

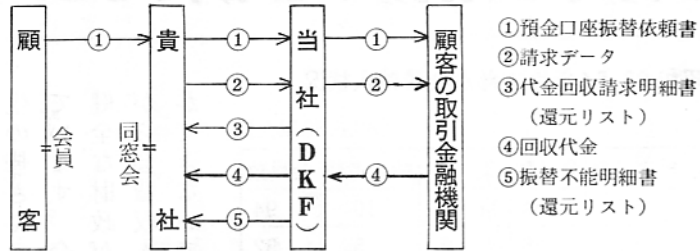
春の彼岸の終りの三月二十六日(土)午後四時から、千葉支部の総会が、千

千葉支部

各県支部総会実施の概要

葉市内の県職員会館で開かれました。総会では(1)支部規約を正式にきめ(2)役員を選出しました。支部総会は事務局担当の加藤成一(二四期)県専技の司会で行われましたが、事務局の支部会

代金回収システムの仕組み



はじめに

貴社と当社は、代金回収事務委託契約を結びます。

- ① 貴社の顧客から「預金口座振替依頼書」を受取り、当社へお送りください。
- ② 請求金額などのデータをお送りください。これにより各金融機関へ回収を依頼します。
- ③ 貴社へは明細書をお送りします。
- ④ 各金融機関は顧客の口座より請求金額を当社口座へ振替ます。当社で各金融機関分をとりまとめ、貴社の口座へ入金します。
- ⑤ 振替不能分を明細書でご連絡します。

分収林の現況について

(本部事務局)

四十周年記念事業においてスタートしました分収林事業の現況について報告いたします。去る四月十五日、鯉湖学園の昭和六十三年度入学式終了後、和田同窓会長、松本学園長他五名の参加により、日立市小木津の同窓会分収林の現況視察を実施しました。当日は高萩管林署より分収林担当者現地へむかえ、愛林組合による下刈の様子や管理状況等について説明を受けた後、分収林内に踏み入り、杉、松の生育状況を見て歩き、六十年後の美林を脳裏に掻い間見て小木津の山を後にしました。全体的に管理も充分に行き届いている様子で、成育の状態も良好であると思われれます。以上報告いたします。



開催についての苦労話のひとつを紹介いたします。それは、

- (1) 支部会員数(本部名簿) 一一七名
うち欠席の回答数 四一名
したがって出席回答数 二〇名
うち女子 七名
 - (2) 総会出欠の回答数 四一名
うち欠席の回答数 二一名
したがって出席回答数 二〇名
うち女子 七名
 - (3) 案内状の返送 四名
 - (4) 東京支部会員との回答 一名
 - (5) 回答なし 七五名
- 出席者の住所は千葉市九名、松戸市二名、四街道市二名、木更津市二名、習

志野市一名、船橋市一名、鴨川市一名、八千代市一名、山武郡芝山町一名です。遠いところは山武郡芝山町、鴨川市、木更津の人たちでした。県内一円では一泊で開かないと出席が困難なのでしょうか。総会では同窓会本部の和田会長の学園と同窓会活動の状況報告がありそのあと、支部長に剣持義虎(二期)氏、事務局長に加藤成一氏(二四期)が万場一致で選出され、加藤事務局長は本部常任委員として活動してもら

こととなり、また、「農業経営活動状況調査(学園の依頼)」を行うことをきめ午後八時すぎ散会しました。

静岡支部

十年ぶりの支部総会ということで参加者一同かなり興奮ぎみに、四月三日(日曜)十二時から開かれた静岡支部総会は進行しました。総会では、今村逸雄(四期)氏にかわり、村田和彦(一期・農業会議)氏が支部長に、副支



小川 清水 角替 高橋 原崎 勝又 山下(東京在住) 増島 杉山 村田 加藤 平石
鈴木(川崎在住) 大関 和田(東京在住・同窓会長) 大石 川島 内山 今村

——静岡県支部会—— 63. 4. 3

部長に清水一昌(一期・信連)氏と勝又完次(一三期・農業共済連)氏、事務局長には平石五雄(一四期・日本サント)氏が選任されました。また東京在住の県出身で川島佳(三期)山下耕一(七期)鈴木昭司(二期)の三氏が特別参加しました。

本部の和田会長から学園、同窓会の状況報告があり、その中で同窓会費の納入状況で、いまある「終身会費制」を初期卒業から順次にお願ひする。また納入の方法を簡便化するため、各自の預金口座からの自動振替制をとり入れる旨の説明あり、その中で静岡支部の納入状況が全国平均より低いことがわかり、参加者はもちろん全支部会員が本部と連絡をとり全員納入することが話題になりました。

当日の出席者は会員六二人中一六人でした。返信のあった人は三二人でした。次の総会には全員、とくに女子会員の出席を期待して閉会しました。

神奈川支部

横浜駅前高島屋六階のミーティングサロンの日本間は、近代都市横浜の中で静かさをもった茶室風の会場を提供してくれていました。

神奈川支部の総会は五月十四日(土曜)午後六時から開かれました。一期生一名、二期生一名、三期生八名、四

すでに会費納入の済ませた方にも、納入案内(振替用紙)が同封されることがあります。ご了承ください。

期生一名、五期生一名、八期生一名、

二期生一名、三期生二名、四期生一名、六期生一名の計一八名が出席しました。葉丸文明(八期)氏の司会で山口支部長の挨拶、和田同窓会長の

本部及び農民教育協会の近況の報告があり、質疑や意見の交換が活発に行われたあと支部役員の交替が行われ、設立以来支部長として支部のお世話をしてこられた山口次夫支部長にかわり葉丸文明(八期)を支部長に選び、補佐役として、鈴木昭司(一期)南一郎(一三期)両氏を選出しました。

山口支部長に出席者一同から記念品として扇の壁掛が贈られました。この記念品は杉原精一(三期)京都支部長のお世話で義弟が勤務されている京扇堂からとりよせた豪華なものでした。

総会のしめくくりは、神奈川支部を全国一番の支部に育てようと全員が申し合せ、「人に知られた高農節」と寮歌を全節うたいあげて閉会しました。

兵庫支部

去る七月二日、兵庫支部は神戸の西舞子にある舞子ピラにて総会を開きました。総会では議事として、六二年度の会計報告と役員改選があり、昨年十一月に開かれた同窓会大会に代議員として出席した加藤信二氏(五期)の報告がありました。

六三・六四年度支部新役員として、足立優(七期)氏が支部長に、加藤整(一〇期)氏が副支部長に選任された他、顧問二名、幹事一〇名が選ばれました。

同窓会本部事務局からは、涌井義郎(三期)が出席して鯉淵学園および同窓会の近況を報告。その後、顧問の栗山要(替)氏の講演があり、今後総会毎に会員の発表の機会を設けようとの話し合いがなされました。

総会には、県内会員百余名のうち二一名が出席。次回はせめて半数以上の参加を得ようと訴えられ、同窓会全体のリーダーシップを兵庫支部が、と意気軒昂でした。懇親会は宿舎で深夜まで続き、会費の納入アピールから鯉淵学園の教育問題まで多くが語られて、散会しました。



学園の近況と学生募集協力依頼

教務部長 西 村 典 夫

炎暑の候、皆様にはいかががお過ごしでしょうか。日頃はすっかりご無沙汰しておりますが、学生募集協力の依頼かたがた、学園における近況の一端をお知らせ致します。

一、卒業式 三月五日(土)、四九名の本科生(園芸三名・畜産七名・生活栄養一〇名)、六名の選科生、一六名の専攻科生(園芸四名、食物二名)の計七

本年四月から農業経済担当の講師として学園の一員に加えていただきました。同窓会の皆様にご自己紹介等を兼ねまして御挨拶もうしあげます。

自己紹介

昭和二十九年七月二日生まれ。出身は神奈川県川崎市。家庭は普通のサラリーマンです。

○東京農工大学農学部卒業後、同大 学大学院(修士課程)修了、東京 大学大学院農学系研究科(博士課程、今村奈良臣先生に御指導を受けました)単位取得。

○その後、民間の研究機関(財)農村開発企画委員会等で、農業問題に関する調査・研究の仕事をいたしました。

○現在の研究テーマは農業生産の共

一名が巣立ちました。因みに、本科生の最終卒業番号は、三九七五、選科は一一八、普及専攻科は四二です。曾ての通信教育課程終了の皆様、千余を加えて、卒業生の総数、優に五千の大台を越しました。

二、入学式 四月十五日(金)、本科生一一五名(農業九六名、生活栄養一九名)普及専攻科一五名(園芸一名、

同化、特に稲作の生産組織の実態についてです。他に、みかんや野菜の生産・流通問題、農地問題にも取り組んできました。

抱負

学園の一員となって、また、学生生

ご挨拶 津 田 渉 農業経済担当

活部の御仕事をやらせていただいております。その意味するところは二つあります。一つは、二一世紀に向けて日本農業が厳しい現状の中から新たな活路を見出していく必要性にせまられている、という点に関係しています。こうした

畜産三名、食物一名)計一三〇名が入学しました。出身校の課程別では、普通高校五九名、農業高校五〇名、商・工高校など六名。出身県の範囲は、全国に亘りますが、やはり茨城が多く一八名、福島一名、新潟九名、東京七名、福井・長野が各六名、栃木五名と続いております。また、出願者の総数は一五七名、園芸希望が大へん多く、畜産・生活栄養希望が大へん少ないのが実情であります。二年生九二名(園芸六二名、畜産一六名、生活栄養一四

時代の波の中で、それに対応して学園の体制をさらに充実するにはどのようなすべきか。現在は、そのための明確な方針を定める時期なのではないかとも思われるのです。今日、全国的にも学園でも、学生の気質はかつてとは大きく変わってきているといわれます。だとすれば、学園の伝統的な気風と現在の学生気質とをなまじにしながらいかにして学園の新しい学風を築いていくのか、これが「転換期」ということの二つめの意味です。これもまた大変重要な問題ではないでしょうか。

不遜をかえりみず生意気なことを書きました。「新入生」の感想として御寛恕くださいますように。以後、よろしく御指導賜りますようお願いもうしあげます。

名)、三年生九五名(園芸六七名、畜産一七名、生活栄養二一名)、選科一名(生活栄養一名)ですので、昭和六三年度は、学生総数三二八名でスタートしました。女子寮は余裕がありますが、男子学生は収容しきれず、若干名を若竹寮(学園長公舎と併設)に入れました。幸い、国庫助成により、この秋には、四二名収容の二階建男子寮が、旧食堂の近くに完成する予定であります。

三、教職員の変更 副学園長・南侃先生は昨年九月末でご退任、引き続き嘱託教授として、農業経済学の講義、卒業論文のご指導をいただいております。

後任には津田渉(わたる)先生を常勤講師としてお迎えしました。津田先生は、先年、東京大学農学系博士課程を終了された新進気鋭の方です。また、作物学、育種学の担当者として、小野敏忠先生を嘱託教授としてお迎えしました。先生は、農水省中国農試の作物部長などを歴任なされた方です。非常勤講師の先生方はかなりたくさん入りま

した。数学・統計学の飯島昭先生、公衆衛生学・全実験をご指導下さった坂巻厳先生は、相統いて急逝されました。一昨年四月採用の教務部主事・小泉宗一さんは、この三月末でご退職、母校・京都大学に戻られました。その他にも幾つか異動がございますが省略させて

四、学生募集協力依頼 今年入学した諸君を対象に、学園を知った動機について調べたところ、出身高校二三%、卒業生二〇%、雑誌一六%、新聞一%、農協八%、普及員六%、親・友人その他もろもろ二六%で、農協や普及員親などと卒業生が重なる部分もあるようで、皆様のご紹介が、出身高校のそれと同等あるいは上回るのではないかと思っております。このように、卒業生の皆様のお力添えはまことに大きく今年も何とぞよろしくお願い致します。

五、募集要項 ほぼ昨年と同じですが、検討の結果、生活栄養科に男子の受入も可とした事(農業科は昭和三十七年から女子学生が入学しており、今年も一人名の女子が入学しました)、沖縄県在住の出願者も関係書類を直接、学園教務部に提出してもらうこととした事、選考料を二〇、〇〇〇円にした事などが変わった点です。諸経費は、現在まだ

同窓生紹介

富山のチューリップ

五期 水野 嘉 孝

富山県にチューリップの栽培がはじまったのは、大正七年、私の父、水野豊造が觀賞用として種苗商より球根を購入して栽培したところ、翌年、見事な花が咲き、立派な球根も取れたのでこれは適地に違いないと着目し、球根

決定しておりませんが、国公立大・中央協同組合学園が改正される兆があり、それと連動する形で若下の値上げになるかも知れません。不明な点、何なりとお問合せいただきたく存じます。重ねて、よろしく、ご支援・ご協力をたまわりますよう、お願い申し上げます。(63・7・11)

生産に切換え、数年後には同志を募り本格的な栽培へと発展していったのである。

砺波平野は砂質壤土の水田単作地帯であるが、球根を水田裏作として成功させたことが大きな特徴である。そして当初より輸出を目標に、生産態勢を整備し、昭和十三年には初めてアメリカに三万球の輸出をしたのである。昭和十六年には栽培面積も二十二ヘクタールに達し、アメリカから二百万球の注文を受けたが、輸出荷造りの最中に対米資産凍結のため輸出不能となった苦い経験をもした。戦時中は全く不要作物として圧迫され、原種保存のために涙ぐましい苦労が続いたのである。

終戦後、辛うじて保持されてきた原種をもとに、生産者が一致団結し、再び輸出実現に努力し、昭和二十二年には戦後初めて十萬球の輸出に成功したのである。しかし価格においては国内向より安く、全くの出血輸出であったが、将来のために海外進出に力を入れたことは、以後の富山産チューリップの発展に大きな意義を持っていったといえる。

昭和二十三年には富山県花卉球根農業協同組合を設立し、以来、強固な団結のもとに品種統制、価格調整、自主検査の徹底をはかるなど、当初は組織作りに最も力を入れたのである。またいち早くオランダより優良品種の導入をはかり、市場性の高い品種の更新と

ともに売店用として最も重要な色彩パランスを整えるなどして、現在では内外に広く販路を伸ばし、我が国の生産地としての基盤を確立することが出来た。この事は、積雪地帯である北陸の気候風上に適した作物であったことと県下全栽培者による強固な組織作りがあったからである。

現在栽培面積は二二三ヘクタール、販売球数は五、一〇〇万球に達し、全国の四十%を占めるに至った。また、栽培品種も七〇種を越え、豊富な色彩は自慢の一つである。これからも富山で改良された新品種が続々と登場し、新しい時代への期待がかけられている。近年、我が国の高度経済成長とともに円高が一段と進み、輸出環境は非常に厳しくなってきたため、球根においても内需拡大に転換せざるを得なくなってきた。かつて昭和三十五年初めて北米市場を調査した時、バイヤーとの直接輸出の道を拓き、以来順調に輸出を伸ばし、昭和三十九年には二、〇〇〇万球に達し、全販売球根数の七五%を占めるに至ったが、以来、輸出は減少し、昭和六十二年度は、四、八万球と全体の九%未満にとどまっている。しかし輸出に力を入れて来たお陰で品質の向上、規格の統一、色彩パランスを整える事が出来たし、又組合員の責任感と団結を強めることが出来た。

昭和六十四年度本科学学生募集要項

○募集人員 (一)農業科……………八〇名
(二)生活栄養科……………四〇名

○願書受付 十一月二十一日～六十四年十二月二十日

○選考発表 六十四年二月二十八日

○諸経費(六十三年度額・参考)
入学金十五万円 授業料等三〇万円(年額)
詳細は鯉淵学園教務部まで(TEL 五五二二八二二)

同窓会名簿の余部があります。お求め下さい。
頒価 2,500円 (送料共)
住所変更の折には是非本部までご一報下さい。

して年々その需要は増えてきているが、オランダからの輸入自由化の要求も年々高まっており、球根界もここにきて国際化時代への厳しい対応が迫まられている。今秋には輸入隔離検疫の撤廃は必至の情勢にあるので、本場オランダ産の低コストの球根が直接国内売店に出廻るとなれば、価格競争において大きな影響のあることを覚悟しなければならぬ。

今後の産地対策としては何んとしても大型機械の導入による単収コストの低減と、技術の向上による生産コストの増大であり、優良品種の選択が必要である。また消費者ニーズにあった商品開発や販売宣伝にも産地自らが力を入れるとともに長期的展望にたつて、後継者の育成などをはかり国際競争力を一層強めていかなければならない。

主産地砺波市のチューリップフェアは今では県内随一の観光イベントとして、ゴールデンウィークの期間中、今年も三〇万人の観光客で賑わった。

私は昨年、後進に道をゆずり、組合を退職したが、草創期よりチューリップと共に歩んだ三十七年間は小さいながらも一つの産業としての基盤作りでもありました。今後球根界も国際化のなかでどう成長していくのか新しい時代を見守っていききたい。

プロフィール

住所 富山県砺波市花園町3-3

水野氏は、学園卒業(昭25)と同時に富山県花き球根農業協同組合に就職、44年3月(40才)参事に就任され、草創期の小さな組合を今日みる世界的な組合に作りあげ、去る62年



3月、在職37年(58才)で後進に道をゆずられ退職された。この間、35年9月にはアメリカ・カナダへ、46年2月にはオランダへ、また、62年5月にはご夫婦でヨーロッパへ調査・視察等旅行され、海外事情にも詳しい。さらに富山県総合開発審議会専門委員(昭35~43)、輸出会議農林水産部会専門委員(昭43~47)、富山県「花と緑の銀行」理事(昭57~62)等の要職にもつかれ、58年には、北陸農政局長より球根振興の農業功労賞を授与された。現在は、富山県花総合センター常任講師として活躍中であり、最近、「チューリップの品種解説」(富山県・1988)の作成に大きな役割を果たされた。(文責 関正治)

「農業経営活動状況調査」結果報告

「農業経営活動状況調査」には、左記の十八名の方々のご協力をいただきました。厚くお礼申しあげます。

氏名	期別	道府県	経営概況
河合 寅男	2	兵庫	酪農(成牛30頭・育成牛15頭)
樋屋 喜吉	9	長野	りんご(150a)+水稲(60a)・農協理事
市村 雅	10	長野	兼業農家(水田85a・畑24a・食品会社勤務)
菅野 武彦	11	岩手	酪農(23頭)+水稲(250a)・農業指導士
木沢源一郎	14	茨城	りんご(120a)+水稲(80a)+山林(15ha)・土地改良区理事
山崎 源司	15	福井	水稲(450a)+肉用牛(10頭)・農協理事等・県知事表彰等
岡本 秀治	18	栃木	水田酪農(成牛45頭・育成牛15頭)・農林大臣賞・畜産局長賞
佐藤(中山) 雅子	21	北海道	畑作(47ha)+肉牛(120頭)・社会教育委員
野崎 弘	21	富山	兼業農家(水稲(225a)+大豆(70a)+麦(70a))・農協勤務
中川 利雄	23	千葉	野菜作(施設30a+露地200a)
安実 正嗣	24	福井	水稲(自作4.1ha・借地7ha)+野菜(畑2ha)+作業受託(20ha)・青年農業士
有馬 利一	25	香川	野菜作(いちご45a)+水稲(90a)・農協社青年部委員長
間宮 敏昭 朋子	34	岐阜	花き(ビニールハウス3,300㎡・ガラス温室1,900㎡)・青年農業士
伊藤(高橋) ゆり子	36	山形	兼業農家(西瓜30a-水田-・ぶどう60a・畑5a)
立石 秀行	37	千葉	酪農(成牛30頭・育成牛12頭)+飼料作(15ha)+水田65a・共進会努力賞
伊藤 忍	40	青森	りんご(4ha)+水田(1.2ha)+雑果樹(3ha)+山林23ha・青年団事務局長
安東 莊爾	通3	岡山	兼業農家(水田50a・畑10a)・前普及所長・獣医師会長賞・知事賞
内勢 房夫	通2	宮崎	—



(第六号頒価七〇〇円)

学報第六号が刊行されました。学園教職員の研究論文四編の他、同窓生加藤整氏(二〇期・兵庫)による寄稿が掲載されています。今後は特に同窓生各位の投稿が望まれています。

鯉淵学報第六号発行

このほか次の県支部長の方々のご協力をいただきました。
川上良三(二期・岡山)、今村逸雄(四期・静岡)、広島実(四期・秋田)、鷹野武(四期・岩手)、加藤成一(二四期・千葉)
なお、これらの事例のほか若干事例を加えて事例集をつくりたいので、改めてご執筆、資料提供をお願いすることがありますが、よろしくご協力の程お願い申し上げます。(松本正雄学園長・和田文雄会長)―文責 関正治―